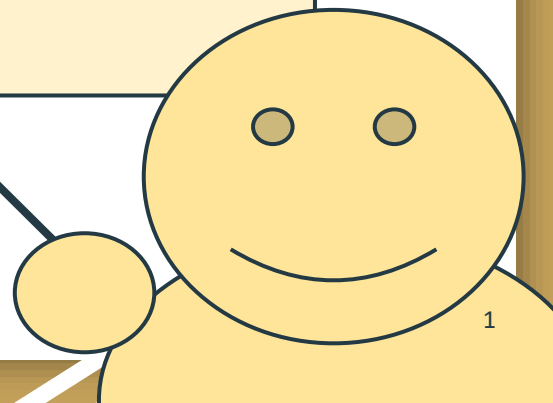


政策チーム



メンバー紹介



モモナ



カナ



キラ



コハル



リョウヤ

提案するテーマ・ビジョン

かわせみボイスの
「政策について知って
いますか」
の質問の欄の回答
「全く知らない」
ゼロにする！



■	あまり知らない	13 票
■	まったく知らない	10 票
■	少し知っている	8 票
■	よく知っている	3 票

どうしてそのテーマに興味を持ったのか？

私たちも政策について知らなかったから

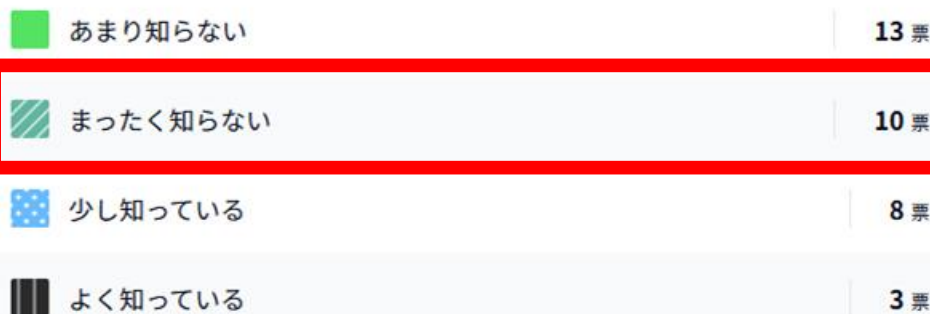
子供だけでなく藤沢市全体に影響をもたらしている大切なものだと考えているから

注目した課題

かわせみボイスの結果によると、
政策をまったく知らない人が
たくさんいる！



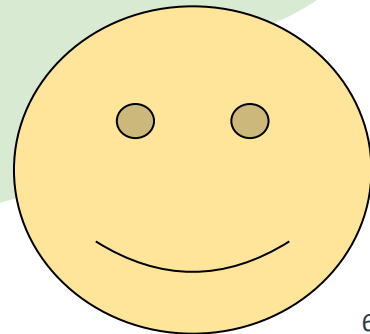
34人中10人が全く
知らない。
その割合約**30%**



提案

政策について知ってもらうために

各年齢ごとに合ったコンテンツを展開！



小学生(1~4年生)

提案内容

学校の「生活」の授業などで政策について学び政策についての興味を持たせる

予想影響

小学生の間に政策について触れる機会を作ることにより今後の政策に関する関心、前提知識を作っていく

小学生(5.6年生)~中学生

提案内容

子供向けHP制作／「社会」などの授業での政策関係の調べ学習の際に使いやすく、かつ頭に入りやすい物を作る

予想影響

中学生は政策に関する調べ学習の機会が多い...だから調べるときにわかりやすくして、政策についてたくさん覚えやすくする！

また、子供に分かりやすい＝すべての世代に分かりやすいを実現

先行事例

(1) 子ども家庭庁のHP

<https://tokyo-kodomo-hp.metro.tokyo.lg.jp/>



(2) 東京都のHP

<https://www.kodomo.cfa.go.jp/>

⇒色使いや絵を取り入れることによって、
子どもたちの興味が湧き、見やすくなる。

中学生～高校生

提案内容

YoutubeショートなどのSNSを用いた宣伝政策に興味がない人にどうすれば政策をいろんな人に興味を持ってもらえるかを報酬付きで考えてもらうことによって考えてくれる人に興味を持ってもらう。

予想影響

高校生というあまり外的要因で政治などに関心を持ちにくい世代に対し、SNSなどの普段の趣味などで活用するSNSなどで宣伝などを行うことによって政策に関して意識を持たせる

高校生のSNSの現状

SNSの利用開始時期

「中学 1 ～ 3 年生」 (49.6%)

「小学 4 ～ 6 年生」 (28.5%)

「高校生になってから」 (11.7%)

SNSの平均利用時間

「1 ～ 2 時間未満」 (26.7%)

「2 ～ 3 時間未満」 (25.3%)

「3 ～ 4 時間未満」 (17.3%)

休日の1日あたりの利用時間については
「5時間以上」と回答した割合が27.2%
と最も高く、平日より20%弱増えている

■アプリ（SNS）の利用状況（学校種別）

学校種	(n)	アプリ（SNS）の利用状況の割合（％）									
		① Y o u T u b e	② L I N E	③ X (旧 T w i t t e r)	④ F a c e b o o k	⑤ I n s t a g r a m	⑥ T i k T o k	⑦ 位 置 情 報 ア プ リ	⑧ D i s c o r d	⑨ B e R e a l.	⑩ 使 っ て い な い
全体	11,434	86.3	57.3	18.6	3.6	26.0	29.0	8.6	8.7	7.4	8.4
小学校	7,153	82.5	39.3	6.0	2.7	10.6	21.0	6.2	2.8	1.8	12.0
中学校	2,398	92.0	92.5	34.2	5.2	47.1	44.1	11.6	15.5	13.6	1.8
高等学校	1,282	95.3	97.7	61.2	5.1	76.6	48.7	17.5	30.0	29.2	1.6
特別支援学校	601	89.4	44.1	15.0	4.0	16.5	22.3	6.3	6.5	2.5	7.3

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。

⇒特にYoutubeやLINEに投稿するのが効果あり

高校生

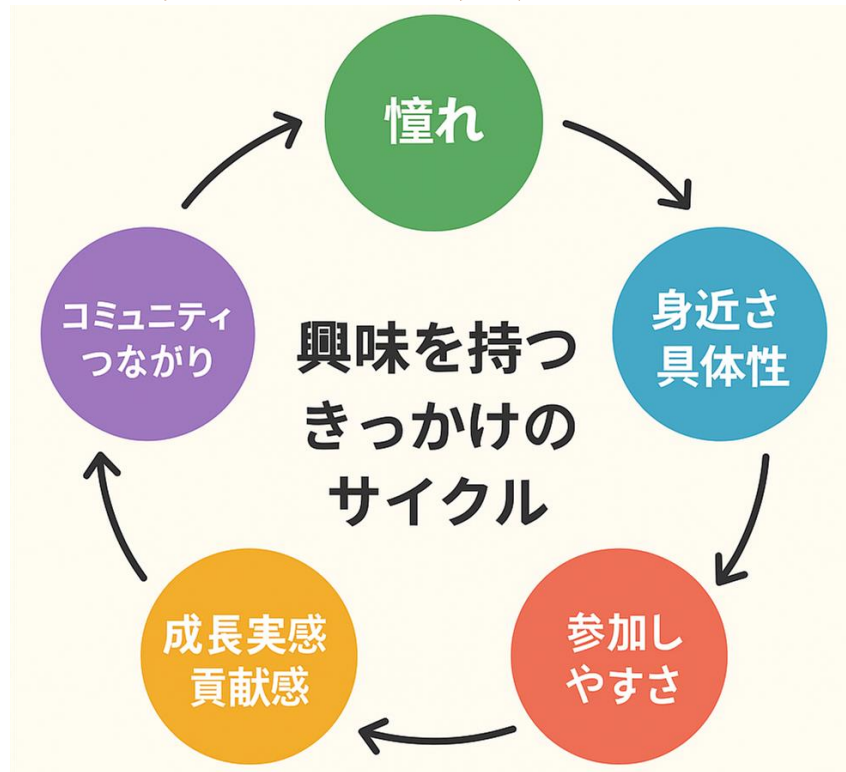
提案内容

市の政策について興味を持ってもらう！

予想影響

「誰かがやってくれる」ではなく「自分が関われる」に変わる
進路や将来の視野が広がる！ 責任感や協調性が育つ！

どうしたら興味を持ってくれるのか？



Designed by Chat GPT

政策提言

● 憧れ

⇒ バッジの提案

● 身近さ、具体性

⇒ ふじさわ子ども・若者委員会の事業展開の提言①

● 参加しやすさ

⇒ ふじさわ子ども・若者委員会の事業展開の提言②

● 政策提言（バッジの提案）

憧れと興味のキッカケをカタチに。

藤沢市の象徴である
「カワセミ」と「シー
キャンドル」をデ
ザインしました

未来へ羽ばたく若者
（カワセミ）と
地域を見守りまちの
明るい未来を照らす
（シーキャンドル）
をイメージしていま
す

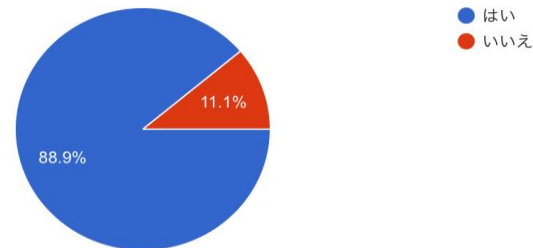


↑政策チームが考えたイラスト案
(Designed by Kana)

約9割の方がバッジは政策
に興味を持つきっかけに
なると回答

バッジの存在は政策に興味を持たせるためのきっかけにつながると思いますか

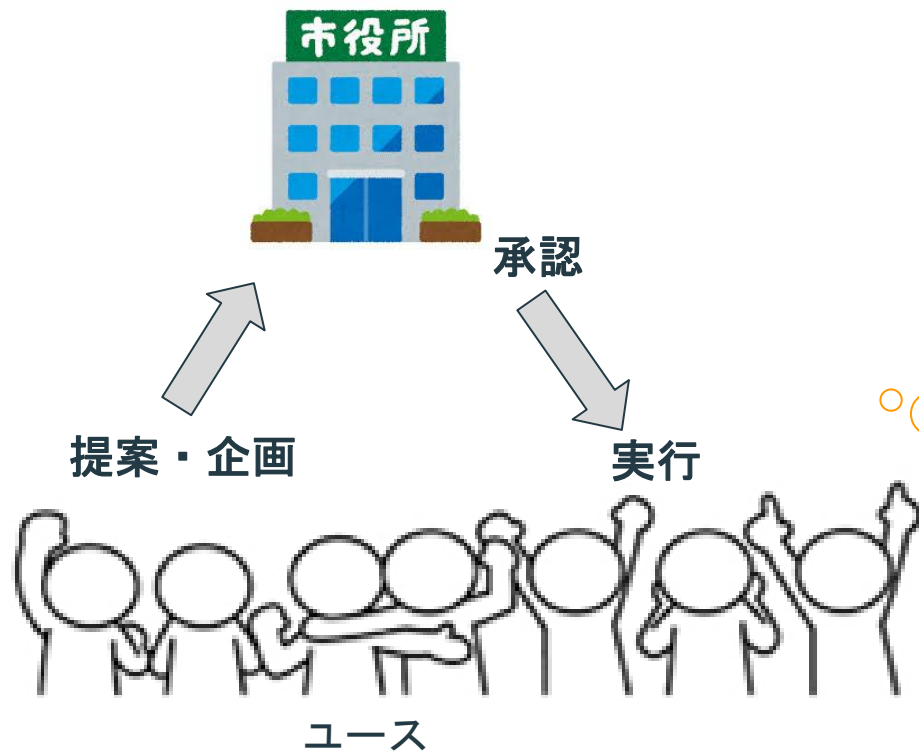
9件の回答



ふじさわ子ども若者委員会に向けてのアンケート結果

● 政策提言（ふじさわ子ども・若者委員会の事業展開の提言①）

ユースが企画、計画、実行を出来る事業へ！



メリット

- ・ユースが日常の中で感じる「不便さ」や「困りごと」を提案・企画に反映できるため、行政をより身近に感じられる。
- ・また、第三者のユースもその取り組みを自分ごととして捉えやすく、共感が生まれやすい。

例えば、、、

- ・清掃活動大運動会
- ・サンパール広場でのユースフェス
- ・ユースが主導のSNSを用いた広報活動

高校生が実際に市役所に携わっている例（参考事例）

JK課（鯖江市役所JK課プロジェクト）



メンバー全員がJK(女子高校生)で構成されている福井県鯖江市がスタートした市民協働推進プロジェクト。

地元のJK（女子高生）たちが中心となって、自由にアイデアを出しあい、さまざまな市民・団体や地元企業、大学、地域メディアなどと連携・協力しながら、**自分たちのまちを楽しむ企画や活動**をたくさん行っている。

藤沢市が行っている活動



ふじさわこどもまちづくり議会

対象年齢：小学1~6年生

目的：感じたことを整理して、
自分たちが考える未来のまちを
模型制作で表現



カフェトーク藤沢

対象年齢：中学生以上

目的：市議会が市民の意見を直接
聞く



ふじさわ子ども・若者委員会

対象年齢：小学生~大学生

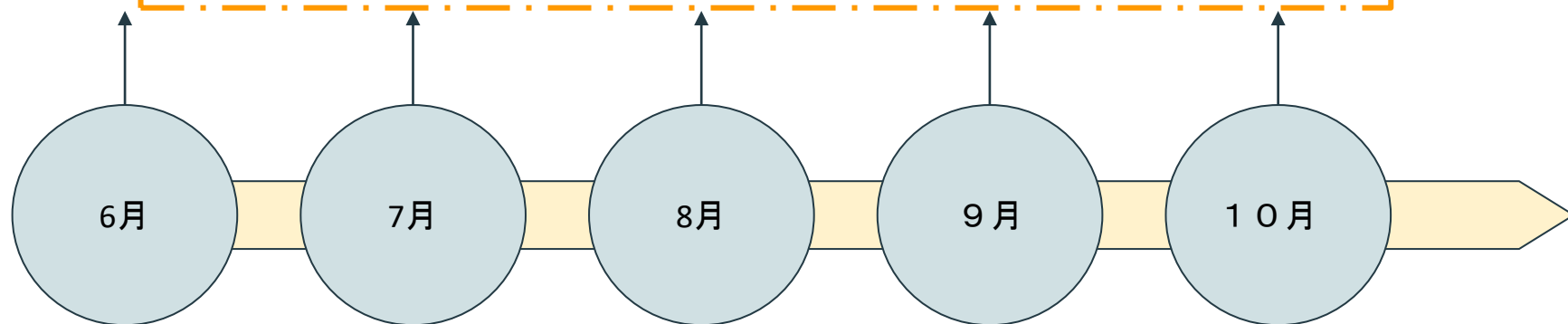
目的：子供の意見を藤沢市の政策
に取り入れていく

● 政策提言（ふじさわ子ども・若者委員会の事業展開の提言②）

多様なニーズに応えられる開催を！

長期

・ 長期的に携わりたい！ ・ 実際に活動を行ってみたい！



単発

開催方法、場所、時期などの調整
例）・ ZOOMなどのオンライン
・ サンパール広場など開かれた場所

・ 年間を通しては参加できない人
・ 少し興味があって気軽に参加してみたい

⇒参加しやすさが大事！！

それぞれの提案がどのような結果をもたらすのか

01

義務教育を受けている世代の政策に関する意識変化

→続けることによって長期的な目で見える必要があるが、藤沢市民の全体的な政策、藤沢市に対する意識変化をもたらすと考えられるから

02

「若者が誇れる藤沢市」になる

→若者の意見を大切にする自治体として、魅力が上がる & 将来的に「地元で働きたい」「戻って貢献」と思う人が増加するから

03

地元企業・商店街の活性化（若手人材の確保）

→自治体が盛り上がり、魅力が上がると思われるから

ご清聴ありがとうございました